



「市立大村美術館 いよいよオープン！」



葦崎大村美術館が市立美術館として再オープンするにあたり、10月1日記念式典が行われました。多くの関係者が参列する中、横内市長が「大切に維持管理し、子どもたちの教育や生涯学習の場としても活用していきたい」と述べ、また、館長に就任し

広報にらさきでは、市内で行われるさまざまな行事や、あなたの身の回りの話題を募集しています。広報は市ホームページでもご覧いただけます。

情報は郵送・メール・☎でお寄せください。
企画財政課企画推進担当

☎ 22-1111 (内線356)

た大村智氏が美術館開館にいたる経緯や芸術への思いなどを語り、氏が理事長を務める女子美術大学の美術館と姉妹提携し、今後企画展などで協力していくことも明らかにしました。市立葦崎大村美術館では再オープンを記念して、「女流画家70人展」を開催中です。女性らしい華やかで優雅な雰囲気の商品が飾られています。季節は「芸術の秋」市民の皆様もぜひ一度足を運んで、心豊かな時間を過ごしてはいかがでしょうか。



「スポーツの秋！！ 葦崎市長旗争奪少年野球大会」

9月28日市営総合グラウンドにおいて、市長旗争奪少年野球大会が行われ、県内の少年野球チーム16チームが熱戦を繰り広げました。市内からは“すずらん”“甘利”“北西”“北東”の4チームが参加し、甘利がパート優勝、みごと市長旗を獲得しました。



「なつかしの名曲を蓄音機で…」

市民会館に懐かしの名曲が響きました。

今では珍しいレコードの演奏を貴重な手巻き蓄音機で聞く会が開かれ、22人の参加者が「植生の宿」や「テネシーワルツ」など懐かしのメロディを聞きながら、自然と歌を口ずさんだり、当時の思い出を語るなどして、午後のひと時を楽しんでいました。



秋晴れの空の下
「福祉の日」記念まつり
が開催されました！



午後からは保育園児や文化協会他によるアトラクションが行われ、さかんな拍手があくられていました。また、フリーマーケットや市民の皆さまから提供していただいた遊休品のバザーも行われ、今年も大盛況でした。



会場内には、韮崎警察署や峡北消防本部の協力により、交通安全や煙体験ハウスなどのコーナーが設けられ、子どもたちの人気を集めていました。



「力をあわせて
大玉をころがそう！」

22回福祉の日記念まつり」が開催され、愛の手で広めよう福祉の輪”を合言葉に市内高齢者や障害を持つ方など1,800人の市民が参加し、秋の一日を楽しみました。当日は花火を合図に、午前9時から開会式が行われ、福祉の発展などに寄与した5人の方に、横内市長から感謝状が贈られました。

秋晴れの空の下、大玉ころがしやデカパンダッシュなど運動会競技が行われ、参加者の皆さんの元気な声がグラウンドに響いていました。



運動会の前にはみんなで準備体操